許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36 条及びPCT規則 70]

REC'D	2	2	JUL	2005
WIPO	_			PCT

今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。 優先日 国際出願日 (日.月.年) 21.08.2003 (日. 月. 年) 23. 08. 2004 PCT/JP2004/012424

国際特許分類 (I P·C) Int.Cl. C12N15/12, A61K35/76, 48/00, A61P29/00, C12N1/15, 1/19, 1/21, 5/10

出願人(氏名又は名称) 株式会社ロコモジェン

出願人又は代理人 の**審類記号 P03-0115PCT**

国際出願番号

WAL III				
				Alle character the test also were the "F
1. この報告 法施行規	告は、PCT: 則第 57 条(P	35 条に基づきこの国際予備審査機関 ・C T 36 条)の規定に従い送付する。	で作成され	lた国際予備審査報告である。
2. この国際	予備審查報告	は、この表紙を含めて全部で	4	ページからなる。
3. この報告 a. 「 所	対属書類は全部	物件も添付されている。 'でページである		
Г	補正されて、 囲及び/又に	この報告の基礎とされた及び/又E は図面の用紙(PCT規則 70. 16 及び	はこの国際 ア実施細則第	予備審査機関が認めた訂正を含む明細 審、請求の 統 第 607 号参照)
Ė	第 I 概 4. 及 国際予備審3	をび補充欄に示したように、出願時に を機関が認定した差替え用紙	における国	際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの
		70~ ニノフカ 1 枚		(電子媒体の種類、数を示す)。
b. ₩ 1	選子媒体は全部	部で ディスク 1枚	ク脚み形り、	可能な形式による配列表又は配列表に関連するテー
	記列表に関する イルを会な。	(実施細則第802号参照)) (DU-)-10.	The opposite the second
1	ノルを 占む。	(ASTRUMAN) 000 13 5 W/V		
4 この国	8 子備案查報4	告は、次の内容を含む。		·
4. 200				
1		国際予備審査報告の基礎		•
· ·	厂 第Ⅱ欄	優先権		いての国際子農密本部告の不作成
		新規性、進歩性又は産業上の利用で	可能性につ	いての国際で開発工程中のバードへ
1	第IV棡	発明の単一性の欠如	Water to be	+ 卒業 トの利用可能性についての見解、それを裏付
	▼ 第V棡		严	は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付
1		けるための文献及び説明		
1.		ある種の引用文献		
1.		国際出願の不備		•
	厂 第WI栩	国際出願に対する意見		·
1				

•	
国際予備審査の請求告を受理した日 08.11.2004	国際予備審査報告を作成した日 07.07.2005
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915	特許庁審査官(権限のある職員) 松田 芳子
東京都千代田区段が関三丁目 4番 3 号	電話番号 03-3581-1101 内線 3488

特許性に関する国際予備報告	国際出願番号 PCT/JP2004/012424
第1 棚 報告の基礎	
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際	出願の言語を基礎とした。
□ この報告は、 語による翻訳文を基礎と	
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。	
□ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査□ PCT規則12.4にいう国際公開	
PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査	
2. この報告は下記の出願ช類を基礎とした。(法第6条(P(た差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に	CT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され こ添付していない。)
▽ 出願時の国際出願む類	
厂 明細杏	時に根出されたもの
第 ページ*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 ページ*、	時に提出されたもの
「 競争の範囲	
第	頁時に提出されたもの - ア 1 g 条の相定に基づき補正されたもの
第	Hはで国際予備薬を機関が受理したもの
第	付けで国際予備審査機関が受理したもの
一 図面	
第 ページ/図、出	願時に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 ページ/図*、	付けで国際予備審査機関が受理したもの
▼ 配列表又は関連するテーブル	
BD 1041-04 / 0 1117-111	
3. 「補正により、下記の借類が削除された。	
「 明細 む 第	ページ
「 請求の範囲 第 <u> </u>	項 ページ/図
第 図面 第 第 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
配列表に関連するテーブル(具体的に配載する	こと)
	50 mm - AM 100 mm - AM 100 mm - AM
4. 「この報告は、補充欄に示したように、この報告に添 えてされたものと認められるので、その補正がされ	対されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超 なかったものとして作成した。 (PCT規則 70.2(c))
「 明細事 第	ページ
請求の範囲 第	項 ページ/図
*	T 7 PM

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

配列表(具体的に記載すること) 配列表に関連するテーブル(具体的に記載すること)

第V	第V梱 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第 12 条 (PCT35 条 (2)) に定める見解、 - それを娶付ける文献及び説明					
1.	見解					
	新規性(N)	簡求の範囲 _ 請求の範囲 _	1-12	_ 有 _ 無		
	進歩性 (I S)	請求の範囲 _。 請求の範囲。	1-12	_ 有 _ 無		
	産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-12	_ 有 . _ 無 		

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献 1:W0 02/052007 A1 (株式会社ロコモジェン) 2002.07.04 文献 2:J. Biol. Chem., 1997, Vol. 272, No. 17, pages 11361-8

文献 3 : J. Biol. Chem., 1996, Vol. 271, No. 18, pages 10425-8

請求の範囲1-12について

請求の範囲1-10に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1により 進歩性を有さない。

文献1には、シノビオリンをコードする遺伝子配列が記載されている。

請求の範囲1-10について、本願出願前、あるタンパク質をコードする遺伝子がクローニングされた場合、該遺伝子の上流配列の解析を行い、プロモーター領域を決定することは、周知技術であったから、文献1に記載されたシノビオリン遺伝子の上流配列の解析を行い、プロモーター領域を決定することは、当業者が容易になし得ることである。

請求の範囲11-12に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1-3 により進歩性を有さない。

文献2-3には、 $GABP\alpha$ 、 $GABP\beta$ 、Estが、転写因子として働くと記載されている。

請求の範囲11-12について、文献2-3に記載されたように、様々な遺伝子の転写因子としての働きを有するGABP α 、GABP β 、Est等を、シノビオリン遺伝子の転写因子として用いること、および、シノビオリン遺伝子のプロモーター領域へのそれらの転写因子の結合を調節することにより、該プロモーターの働きを調節することは、当業者が容易になし得ることである。

配列衷に関する補充梱 第 I 梱2. の続き 1. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に必要なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、以下に基づき国際予備報告を作成した。 a. タイプ 区 配列表 「 配列表に関連するテーブル b. フォーマット 丁 事面 「 コンピュータ節み取り可能な形式

▼ この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された

出願後に、關査又は予備審査のために、この国際機関に提出された

- 2. **○** さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。
- 3. 補足意見:

*第1欄4. に該当する場合、差替える配列表又は配列表に関連するテーブルに "superseded" と記入されることがある。